

▼ 人手と金

いよいよ今年もシーズンに突入。
が、しかしまずは我々のポンツーンの新規架け替えの大事業が待っています。

今週4日土曜日にタスカージャパン、カラットマリンを含めプロジェクト委員会で施工方法・施工日・その他段取りの話し合いをします。

工程等が決まりましたら今度は人手の確保です。各クラブから1名なんてことは言ってもらえない外帆会員総出で立ち向かわなければならぬでしょう。（ご老体は別として）はてさて何日かかるでしょう？

施工が終わると今度はお金の問題です。とりあえず来年度のポンツーン管理費を値上げして対応する予定ですが・・・別途備品関係もあるので値上げ幅がどのくらいになるのか気になるところです。

何はともあれ会員皆さんの協力が最大の援助となりますのでご協力をお願いいたします。

アンカーライト

第27話「隠れ家の話#2」

前回隠れ家のことをなんやかんや書いたがひょんなことからとある本を見つけた。

その本はいわゆる路上生活者の住処をいろいろ調べて、その生活ぶりや衣食住すべてを記述したノウハウ本に近い小説なのだが（坂口恭平著：隅田川のエジソン他）、廃材をもらってきてビニールシートと組み合わせ住居を作り、ソーラーとバッテリーの組み合わせで照明やらカラオケやらで仲間同士で宴会するという。なんと、読めば読むほど拙らヨットでの生活と寸分違わず、子供のころから秘密基地やら作って遊んでいたことの延長そのものであり、まさに目からウロコで、いやーびっくりするやら関心するやらで一気に3冊読んでしまった。

ヨットで沖に出ているときの解放感はいまさらながら言うに及ばず、周りの空間はすべて自分のもので自然からの制約と艇の制限以外の束縛を受けず自由気ままに走り回れる。

キャビン内は狭いけどデッキ上は果てしない空間が広がり、シングルで帆走していれば全部自分一人占めの空間である。周りの海は全部自分のためのプールである。船が海の一部ではなく船は単なる寝室であり空と海や見えている陸も含めてすべて生活居住空間なのである。知らぬ間に今まで自然と感覚的にこの心地よさを受け入れ、そしてこれがストレス解消出来ている極め手だったのだ。

路上生活者のほとんどもこれと同じ感覚で周りの空間を受け入れ生活しているのだと。

我々と違うのは地上か水上かというくらいである。拙は年に何回かはカブツーリングでテント生活、つまり路上生活するのだが、つまりは気づかぬうちに路上生活者に同化していたといえる。ポン友のヤス殿は加えて水飲み場で行水するのでさらに一歩達人の域に達している。

願わくば今度ぜひとも本物の路上生活者と一緒に宴会をしてその奥義を垣間見たいと思っている。

▼ TEAM KOMATSU近況

3月5日
宇野港へ。夜、地元ヨットマンと居酒屋で一杯のみ。
3月8日
香川県多度津。早速讃岐うどんの店へ。以後、毎朝うどん。安くてうまい。
3月10日
時折雪。ここで雪に出会うとはおもわなかった。
3月11日
西よりの強風の中、北木島へむかう。波高1.5メートル、風速、時折15メートル。10時、入港。狭いが波も風も入らず居心地のいい港だ。ここは岡山県。
3月14日
弓削島へ到着。やっと瀬戸内海らしい海象になった。今度は愛媛県になる。海の駅のポンツーンにもやう。係船料、1トン1円。マイウェイは1日7円。ホテルの風呂に入る。65才以上510円。GSもスーパーもすぐそば。いいところだ。

3月24日 16:51

こんにちは。元気ですか。
函館は嵐？
また寒くなりましたね。
でもあちこちからサクラ開花のニュース。
今、沖野島マリーナです。昨年11月に1ヶ月いたマリーナにまたやってきました。
22日に上かし今日船底塗料をぬりました。
ここもサクラが咲きだしました。もう春です。
木曜日に下ろし、土曜日出港の予定です。豊後水道を抜け四国西岸、九州東岸を通って屋久島に寄ってそのあと北上、日本海に入って函館に向かいます。
寄ってみたい所がいっぱいあります。
また時々メールします。お手数でしょうがよろしくお願ひいたします。
もとえ、ゆみこ、つらら、あられ

